

A P 有用遺伝子情報等の共有による新たな育種体系の確立の迅速化

- ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発(H24～H29) (農水省)
- 花きの国際競争力強化に向けた技術の開発(H27～H31) (農水省)

得られた新たな有用遺伝子情報や重イオンビーム照射等を用いた変異指向性技術等を双方で共有することで、SIPで行うゲノム編集技術やオミクス解析等を活用した新たな育種体系の確立に貢献

SIP ○新たな育種体系の確立(ゲノム編集技術、オミクス解析等)

A P ウナギ種苗の大量生産システムの実証事業(H26～H28) (農水省)

遺伝情報を活用した養殖に適した優良形質の選別技術の成果をSIPでの遺伝子関連の研究成果に活用

SIP ○収量や成分を自在にコントロールできる太陽光型植物工場

A P ファインバブル基盤技術研究開発事業(H26～H30) (経産省)

SIPにおけるファインバブルの応用技術開発(農業等)とAP施策の基盤技術開発、産業分野への応用技術開発を一体で進めることで、農業分野のファインバブルの事業化を推進。

SIP ○木質リグニン等からの高付加価値素材の開発

A P 石油由来資源からの脱却と二酸化炭素排出量の削減に向けたバイオマス資源の利活用に関する研究開発

- ・非可食性植物由来原料による高効率化学品製造プロセス技術開発(H25～H31) (経産省)
- ・地域バイオマス資源を活用したバイオ燃料及び化学品等の生産のための研究開発(H24～H27) (農水省)

SIP施策に有益な情報・成果の提供・共有を行い、両取組の研究加速・課題達成を目指す。